



Temporary:
Pleasure

R18

中二のクラス替え
俺は爆豪たちと
同じクラスになった

いつしかよく
つるむようになり
まるでクラスの王様
になったようだった



昔から
クラスの輪の中心に
なることは
多かった



勝己たちと
つるむと
それがより
確固なものになった

中心ではなく
頂点になり、

自分たちの行動で
クラスの雰囲気
が左右されていく
様子が面白くない
わけがなかった



ヒエラルキーの頂点は
輪の中心にいた頃
なんかより

ずっと
居心地の良いもの
だった



そして 頂点が存在するということは

同時に 底辺も存在するということになる





っせーな

ふははは

見えねー!!



えっ

勝己と緑谷って
幼馴染なの!?



クラ...



ギシッ

気分悪いから
この話すんのやめろ

ミデクの存在
自体がムカつくん
だよ



緑谷とか
めっちゃ地味だし
教室片隅系
じゃん?!

いたんだい
みたいは



勝己の
こんな顔を
見るのは
初めてだった

ああ...



正直な話、
勝己はやっばり
別格だった

周囲の人間に
「彼は特別で
いてほしい」と
そう思わせる
蠱惑的な魅力も
それを納得させる
圧倒的な
カリスマ性も

勝己には全てが
与えられていると
言われても
過言では無いような
気さえしていた

率直に言って、面白くなかった



「緑谷出久と幼馴染」なんて
これから先変えることの出来ない
どうしようもない関係は
勝己にとって枷になるんじゃないだろうか

そんな勝己にとって
何の付加価値にもならないような関係は、
勝己の人生を縛るだけじゃないだろうか？



聞こえませーん

ザワッ



あー…緑谷
後ろの席にも
聞こえるように
もう一回



はー
笑える

あーあ



はーはー…



だろー?



可哀想



なあなあ

今日の緑谷
めっちゃ
面白くなかった?!

たっ



すっげー
慌てたし
笑えたよな!



おい!!

かっしっ

待てよ!!

スタ
スタ



グアイッ

シカトすんなよ
勝己!!



…は…?
なんだ?この目

冷たいというより

むしろ

完全なる「無関心」のような

白ける

つまんねエこと
してんなよ
ザコが



は……?

何……

あーあ

だから
言ったじゃん



「可哀想」って



それ以来
勝己たちと
つるむことは
なくなり

同時に
クラスの
ヒエラルキーも
転落していった

いや、
転落というよりは

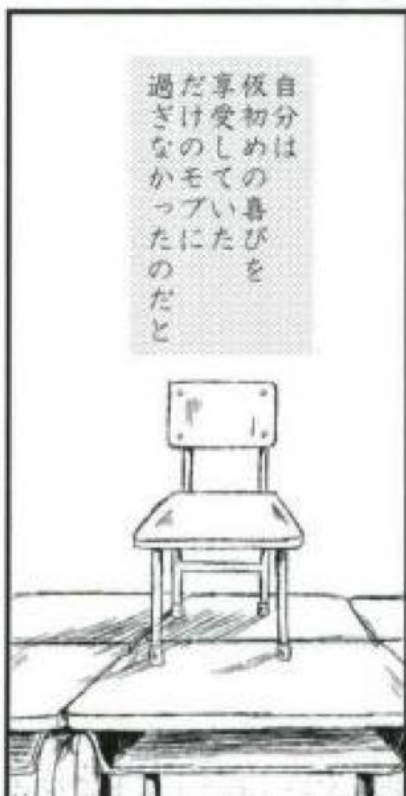
むしろ

「自分の本来の配役」に
戻ったと言うべき
かもしれない

俺が感じていた
「頂点の栄光」は
結局のところ
勝己からの
恩恵でしかなく

あのときの好奇心も
むしろ
勝己への忠誠のような
感情であり

自分は
仮初めの喜びを
享受していた
だけのモブに
過ぎなかつたのだと



改めて

噛みしめた



何も知りません
みたいな顔
しやがって...

男に弄られて
悦んでる
くせに

もっかい
読んでみるよ
オラ

痛ッ...



……ッ!!

……キ、

キスは?



かっちゃん…
こういうことしても
キスはしてこない
じゃないか…



あー…?

……っ

言うとキスなどの
言葉に含まれ、
変化が訪れます。



だから
知りませんって
顔も
嘘じゃな…

いッ…



誰に向かって
物言ってるんだよ

てめエ



んぐ…



ツッ痛…



てめエなんか

まあ

ほ



一生童貞でいろ



**KATSUKI BAKUGO
×
IZUKU MIDORIYA**

**MY HERO ACADEMIA
FAN BOOK #06**

**presented by Mipple:
2016.09.25**